

部局名	生涯学習部	所属名	文化・スポーツ課	所属長名	頭司 孝弘	電 話	481-0305
-----	-------	-----	----------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	4063		事務事業名称	スポーツ振興事業					短縮コード	経常	4063	臨時	4064
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	11	スポーツ振興費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		スポーツ基本法、八千代市補助金等交付規則、八千代市社会教育関係団体事業補助金交付要項							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
平成24年度からは、スポーツ推進事業として事業を実施する。 市民の運動不足やストレスなどによる体力の低下や生活習慣病の増加への対策等が求められるようになり、スポーツレクリエーション活動の果たす役割がますます重要となってきた。 「いつでも」「どこでも」「だれでも」スポーツを楽しめるような環境整備が必要となってきた。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	6本の柱（章）	02	第2章教育文化都市をめざして						
自由時間の増加や高齢化の進展等の市民生活環境の急速な変化がうかがえる。 このため、スポーツレクリエーション活動への市民ニーズが多様化し、スポーツ人口の増加による各種スポーツ施設や、市民の要望に適したスポーツ指導者等の不足が懸念される。 また、25年度から八千代台東南地区の小学校2校が統廃合することにより、既存利用団体の活動場所の不足が予測されるので、市民スポーツ活動の場の確保を目的として、利用方法等の見直しが喫緊の課題である。					大項目（節）	04	第4節スポーツ・レクリエーション						
					中 項 目	01	1. スポーツ・レクリエーション						
					小 項 目	01	(1)生涯スポーツ活動の推進						
						02	(2)スポーツ・レクリエーション施設の整備						
					細 項 目	01	①地域スポーツの活性化						
02	②学校体育施設の活用												
				実施計画の計画事業									
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円	

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	①一般市民 ②スポーツ推進委員 ③スポーツ統括団体							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成23年度に実際に行ったこと： ①スポーツ教室の開催 ②体力テストの実施 ③スポーツ大会の開催 ④スポーツ推進委員の育成及び研修 ⑤市内小中学校33校の体育館、屋外運動場、プールを市内スポーツ団体に開放 ⑥当年度事業に関わる補助金の交付や事業の実施・運営の指導							
	※平成24年度に計画していること： ①スポーツ教室の開催 ②体力テストの実施 ③スポーツ大会の開催 ④スポーツ推進委員の育成及び研修 ⑤市内小中学校33校の体育館、屋外運動場、プールを市内スポーツ団体に開放 ⑥当年度事業に関わる補助金の交付や事業の実施・運営の指導 ⑦平成26年度全国高等学校総合体育祭バスケットボール競技（女子）開催に向けた準備 ⑧小学校統廃合に伴って予測される学校開放事業利用者への対応の検討							
意図 （何を狙っているのか）	①スポーツ・レクリエーション活動の普及振興 ②市民の体力向上及び健康増進 ③地域住民の交流及び地域の活性化 ④スポーツ推進委員の指導力向上 ⑤各種スポーツ大会へ参加及び練習等の場を設け、スポーツ機会を増やす ⑥スポーツ団体の組織確立と、自立した事業運営への支援による地域スポーツ振興 ⑦学校体育施設を市民にスポーツの場として提供する							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	22年度	23年度		24年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	スポーツ事業件数	件	75	78	66	70	
	指標2	学校開放登録人数	人	13,473	14,146	12,552	10,830	
	指標3							
活動指標	指標1	スポーツ事業参加者数	人	25,462	26,735	29,700	27,440	
	指標2	学校開放利用人数	人	398,181	418,090	345,429	371,861	
	指標3							
成果指標	指標1	スポーツ事業参加者数の推移(前年比)	%	98	105	116	105	
	指標2	学校開放利用人数の推移(前年比)	%	107	105	86	105	
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード	4063	事務事業名称	スポーツ振興事業				所属名	文化・スポーツ課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			スポーツを行ったり，観戦したりする機会を創出し，それらの市民への周知を通じて，スポーツへの関心を高めていく。			
		☒ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			大会・教室，ともに広く周知し，大規模で開催すれば参加者は増大するが，運営面や施設面，安全面でコストの増大は不可避である。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☒		
			不 変	☐	☐	☐		
低 下	☐		☐	☐				

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
①学校体育施設は施設利用団体の増加により飽和状態にあり，新規の利用希望団体が参入しにくい ②スポーツが行える場所の整備・拡充（総合グラウンド，地区小体育館や屋外水泳場等） ③スポーツ施設の予約方法の改善 ④総合型地域スポーツクラブを創設及び運営していくために，スポーツクラブと行政が連携した取り組みが必要 ⑤地域スポーツ人材の育成と活用 ⑥スポーツ教室の充実。 ⑦近隣市とのスポーツ施設相互利用の拡大									

所属長コメント	「八千代市スポーツ振興マスタープラン」に基づき，生涯スポーツ活動の推進とスポーツ・レクリエーション施設の整備に努めます。また，平成２６年度に全国高等学校総合体育大会（南関東ブロック）の女子バスケットボール競技の開催地として，競技会場の確保，選手団の輸送体制，宿泊施設との事前調整等を行い万全を期します。								
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続			スポーツイベントについて，インターネット等を通じて広く住民周知し効率的な事業の遂行に努めること。					
	☒ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☐ 現状のまま継続									